

活動基本方針と2025年度事業計画

NPO 法人「八幡たけくらぶ」が2009年に認証・設立され今年で16年が経過しました。今後も継続した竹林整備と高齢化が進む中で会員の皆さんが「生きがい・やりがい」を感じ楽しく活動できる場としての活動に取り組んでいきます。また、今年八幡市が掲げる「歴史的資源を活用した文化観光まちづくり未来戦略(新・空中茶室)」の実施計画の年でもあり、我々の活動拠点ある展望の館に大きく関わりのある年でもあります。我々の拠点維持に向け積極的に関わると共に念願で有りました展望の館の雨漏り対策として、トタン屋根部分の改修を8月に実施します。

I. 竹林整備活動

- ① 既存竹林の整備・・・現在整備中の石清水竹林、安田竹林、円福寺竹林、島田竹林、小谷竹林、内里竹林、展望台竹林、本妙寺竹林の8竹林に勢力を注ぐ。本妙寺竹林は小谷竹林と隔月で整備を実施する。また、円福寺竹林の皆伐エリアは予定通り昨年度末に終了し、今年度はヒコバエ除去及び残存竹の粉碎を実施する。
- ② 新規竹林の整備・・・円福寺竹林での新たに間伐エリアとして円福寺と協議の上、お寺に西側を今年度より整備する。
- ③ 臨時竹林の整備・・・要請があれば有償にて対応し環境保全に役立つ内容とする(整備・粉碎等で短間終了のもの)

II. 安全活動

- ① 「自分の安全は自分で守る」を基本に月1回の安全委員会を開催し、ヒアリ・ハットを活用した事故の再発防止等会員の安全確保に向けた取り組みを継続して実施する。
- ② 新会員を中心とした安全講習会を年1回開催し、加えて機器取扱い等の実地教育を継続実施する。
- ③ 竹林整備未経験者の会員に対して安全委員を中心としたベテラン会員が現場で安全な整備方法を指導する。

III. 同好会活動

- ① 竹細工同好会・・・従来の竹細工サークル、燻竹サークル、竹籠サークル、竹紙サークル等を更に充実させ竹の有効活用を図る。
 - ・燻竹サークルでは、必要に応じて設備の改良を行ってより良い燻竹作製を図る。
また竹炭作製体制を整え順次竹炭の質を向上させる。
 - ・竹籠サークルでは、日ごろの成果を作品として仕上げる事でやりがいと充実感を図る。
 - ・竹紙サークルでは、製品化に向け会員への体験会后、設備充実を図り竹細工教室メニューに取り込む。
- ② その他の活動・・・毎週木曜日の自主活動日に展望の館にて竹細工作製等を自由に楽しむ日とする。また、たけくらぶ専用商品作製者の底辺を広げや多くの会員に専用商品作製技術を習得してもらう。

IV. 展望の館及び庭園の活用

- ① 竹細工体験教室の拡大(従来の教室に加え竹灯り作製・竹紙作製・竹籠作製)に向け協力者の強化を図る。
- ② 展望の館・庭園整備を今まで通り毎月1日を定例活動日とし、加えて庭園整備の日を設けて四季折々の草花の維持管理をする。
- ③ 八幡市が掲げる「歴史的資源を活用した文化観光まちづくり未来戦略(新・空中茶室)」の実施計画年に当たり市と連携を強化してけくらぶの意見を反映して頂くよう協議する。
- ④ 展望の館の雨漏り対策としてトタン屋根部分の改修を8月に実施する。

IV. 活動資金の調達

- ① 林野庁への新規申請・・・令和7年度の新規申請として、安田竹林を「里山林活性化による多面的機能発揮対策交付金」に申請した。具体的には、全体を3年に分けて計画して実施年度ごとに申請するもので令和7年度は、全体2.2haの内1haを申請した。許可後具体的整備体制を構築し計画的に実施する。
- ② 竹細工教室、イベント活動等で活動資金の一部を補完する。
- ③ 竹林整備受注、粉碎作業受注、その他の収入源を検討する。
- ④ 近年、次期繰越額が減少して来ている。資金調達計画とし新たな交付金申請を検討する。

V. その他

- ① 文化交流活動・イベント活動・広報活動・自然環境保全の為の活動については従来通り実施し行く。
- ② 里山再生協議会事業に参画し、年2回の男山散策路整備に協力する。
- ③ 会員の親睦については、コロナ禍で一部自粛していたが徐々に増えてきており、今後も引き続き実施する。